

7月6日：証券、銀行、航空セクターが牽引し上昇

月曜日は証券、銀行、航空セクターを中心に資金が流入し、幸先の良いスタートを切った。

ホーチミン取引所のベンチマークであるVN指数は1.6%上昇し、861.16ポイントで引けた。

先週、同指数は週間で0.51%下落していた。出来高は2億15百万株、売買代金は4.2兆ドンとなった。

市場には明るい雰囲気広がり、251銘柄が上昇したのに対し、116銘柄が下落した。証券、銀行、航空セクターを中心に大型株が上昇し、市場を牽引した。

銀行セクターでは、BIDV銀行(BID)、ベトナム銀行(CTG)、アジア商業銀行(ACB)、ミリタリーバンク(MBB)、サコムバンク(STB)、VPバンク(BPB)、テックコムバンク(TCB)などの上昇が目立った。

証券セクターでは、ホーチミン市証券(HCM)、SSI証券(SSI)、サイゴンハノイ証券(SHS)、VNダイレクト証券(VND)、ベトナムキャピタル証券(VCI)などが上昇した。

航空セクターではサイゴングランドサービス(SGN)、ノイバイカーゴ(NCT)、ベトナム航空(HVN)、ベトナム・エアポート・コーポレーション(ACV)などが大きく上昇した。

ホーチミン市場で時価総額・流動性の大きい30銘柄で構成されるVN30指数は、1.72%上昇し803.46ポイントで引けた。

タインコン証券によると、大型株の上昇が相場を下支えしたということである。市場の流動性は平均的な水準で、多くの投資家がVN指数が上昇し続けることを懐疑的に見ていることを示している。

VN指数は当面は堅調に推移すると思われるが、870-880ポイント近辺の抵抗線に接近すれば売り圧力にさらされるだろうと同社は見ている。

外国人投資家は、ビンホームズ (VHM)、ビナミルク (VNM)、SSI 証券 (SSI)などを中心に、ホーチミン市場で 244.9 億ドンを買い越した。ハノイ市場では 71.1 億ドンの売り越しとなった。

ハノイ取引所では、HNX 指数が 1.37%上昇し、113.07 ポイントで引けた。

同指数は先週 1.67%下落していた。同市場の出来高は 33.3 百万株、売買代金が 3,710 億ドンとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。